

横須賀市立養護学校 令和4年度 教育計画

【学校教育目標】

今日をふみしめ 明日へ一歩 ふみだす子
 ~未来に向けて、たくましく、よりよく生きる子どもを育てる~

『目指す子ども像』

- ◎ 自分のペースで主体的に学ぶ子
- ◎ 気持ちを豊かに表現する子
- ◎ からだを大切にしている子
- ◎ いろいろな人と関わる子

『目指す学校像』

- ・ 子どもの状況に応じた学びと集団での学びあいを大切にした教育を行います。
- ・ 一人一人の思いを受け止め、気持ちを表現する手段を確立できるようにします。
- ・ 身体状況に応じた支援を行い、生活の質の向上に努めます。
- ・ まわりの人との関わりを大切に、自立と社会参加を目指した取り組みを進めます。

【重点目標】

1. 一人一人の障害の状態や教育的ニーズに応じた指導目標の設定や適切な評価に取り組みます。
2. 学習集団を工夫し、9年間の学びの連続性を意識した教育課程の編成を行います。
3. 障害の状態に応じた自立活動を推進し、自分らしく生きる子どもの育成を目指します。
4. 地域に開かれた学校づくりを進め、共生社会の実現のためのインクルーシブ教育システムの構築を進めます。

保護者・地域
☆交流、連携 ・授業参観 ・懇談会 ・PTA行事 ・PTA学校開放 ・学校評価 ☆開かれた学校 ・学校運営協議会 ・体験授業の受け入れ ・地域交流 ・学校間交流 ・校外への情報発信 ・地域の人材活用

学校教育目標達成のための具体的な方法	
1-①	個別の指導計画の作成の中で、より個に応じた指導目標の設定を行う。
1-②	指導と評価の一体化を目指し、合理的配慮のあるよりよい授業実践を推進する。
2-①	学びの連続性や個に応じた支援のある多様な学習集団を編成し、指導に取り組む。
2-②	集団授業における思考力・判断力・表現力を育む授業づくりの実践を深める。
3-①	子どもの実態を多職種の教職員で共有し、教職員の専門性を高め、チームとして教育にあたる。
3-②	子ども理解を深め、多様な社会参加のあり方を考えた生きる力の育成に取り組む。
4-①	地域の関係機関と連携を図り、地域の人材や支援を活用した教育の充実を図る。
4-②	地域の学校との交流および共同学習を推進し、共生社会の基礎となる取り組みを進める。
4-③	特別支援学校としての地域支援のセンター的機能の充実を図る。

支援教育推進
☆校内支援 ・保護者、教員を対象とした校内支援の充実 ・子どもの将来を見据えた教育の充実 ☆地域支援のセンター的機能 ・教育相談や地域の学校への巡回相談の充実 ☆進路 ・地域の学校や施設作業所等と連携し、保護者と共に子どもの進路を考え、見通しをもった教育の推進 ☆交流及び共同学習 ・居住地校交流、学校間交流等の充実による障害理解やインクルーシブ教育の促進 ☆研究・研修 ・研究、研修を教育実践に活かす取り組み

教育	教職員	学校
☆新「学習指導要領」の理解をより深めたカリキュラムマネジメントに取り組む。 併せて「自立活動」の充実を図る。 ☆「個別の指導計画」に基づいた授業実践を充実させる。 ☆9年間の教育課程を、系統性・一貫性のあるものにする。 ☆サポートブックを含めた「個別の教育支援計画」を作成活用し、地域社会で生涯にわたりよりよい生活をするための支援を保護者とともに考えていく。	☆子ども一人一人の育ちをつなぎ、支える支援を行う。 ☆専門性を生かし、協働して日々の具体的な指導を行う。 ☆支えあい、学びあい、高めあう教職員集団を組織し、専門性を向上させる。 ☆保護者や地域の方々と相互理解を深め、連携した学校づくりを推進する。	☆合理的配慮がなされた安全な教育境をつくる。 ☆防災や危機管理に対応した備えをする。 ☆児童・生徒、保護者、地域の信頼が得られるよう情報発信を行い、開かれた学校づくりに努める。 ☆教育目標に沿った組織運営を行う。 ☆会議や事務処理の効率化に努める。 ☆特別支援学校のセンター的役割の整備・充実を推進する。